

香取おみがわ医療センターの現状について

1 沿革

香取おみがわ医療センターは、昭和 30 年 8 月 1 日に小見川町外三ヶ町村病院組合（小見川町、山田町、良文村、神代村）による国民健康保険直営の国保小見川中央病院として、3 診療科 56 床（一般病床 30 床、伝染病床 26 床）で開院しました。昭和 32 年の町村合併に伴う小見川町外二ヶ町村病院組合（小見川町、山田町、東庄町）への改組を経て徐々に診療科目や病床数を増やし、昭和 47 年から 49 年にかけて行った新築及び増改築で 7 診療科 176 床を有することとなりました。

その後の整備により 12 診療科 190 床となり、平成元年には総合病院の名称承認を得て国保小見川総合病院に改称しました。循環器科などの診療開始や人工透析室を設置するなど総合病院としての役割を果たしつつ、平成 18 年には市町村合併に伴い香取市東庄町病院組合に改組されました。一方で平成 16 年の医師臨床研修制度の改正により医師不足が進み、産婦人科の休診など診療機能の縮小や看護職員の減少もあり、平成 20 年には稼働病床が 135 床となりました。3 年後には 150 床としたものの入院患者数の減少は進み、施設の老朽化も課題となりました。そこで建て替え整備を検討し、組合を解散して 100 床の香取市立病院として令和元年 9 月 1 日に開院しました。

昭和 30 年	小見川町外三ヶ町村病院組合による「国保小見川中央病院」開院 内科・外科・放射線科	一般病床 30 床・伝染病床 26 床 計 56 床
昭和 31 年		一般病床 30 床増床 計 86 床
昭和 32 年	小見川町外二ヶ町村病院組合に改組 産婦人科を開設	
昭和 33 年	皮膚泌尿器科、眼科を開設	一般病床 26 床増床 計 112 床
昭和 38 年		一般病床 34 床増床 計 146 床
昭和 44 年	小児科を開設	
昭和 47 年	鉄筋コンクリート造 5 階建に全面改築	
昭和 49 年		一般病床 30 床増床 計 176 床
昭和 50 年	歯科を開設	
昭和 54 年	脳神経外科、皮膚科を開設	
昭和 57 年		一般病床 40 床増床・伝染病床 26 床廃止 計 190 床
昭和 58 年	リハビリテーション科、整形外科を開設	
昭和 59 年	耳鼻咽喉科を開設	
平成 元年	「国保小見川総合病院」に改称	
平成 2 年	泌尿器科を開設	
平成 12 年	介護保険事業開始	
平成 14 年	循環器科を開設	
平成 17 年	人工透析部門設置、産婦人科休診	一般病床 20 床減床 計 170 床
平成 18 年	香取市東庄町病院組合に改組	
平成 19 年	脊椎脊髄センターを開設	
平成 20 年		一般病床 35 床休止 稼働病床 135 床（許可病床 170 床）
平成 22 年	血液浄化センターを開設	
平成 23 年		一般病床 15 床再稼働 稼働病床 150 床（許可病床 170 床）
令和 元年	鉄骨造 4 階建に建て替え 病院組合を解散し香取市立病院として「香取おみがわ医療センター」開院	
	13 診療科	一般病床 100 床
令和 2 年	形成外科を開設	

表1 概要（令和3年4月1日現在）

所在地	千葉県香取市南原地新田 438 番地 1
病床数	100 床（一般病床）
診療科目	14 科
	内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
職員数	医師 5 名（内科 3 名、外科 1 名、歯科 1 名） 看護師(准) 82 名（再任用 4 名含む） 医療技術員 48 名 事務職 18 名 その他の職員 15 名（再任用 6 名含む） 介護保険事業職員 5 名 附属看護専門学校職員 9 名（再任用 1 名含む） <u>合計 182 名</u>
主な施設基準	救急告示（二次救急）、一般病棟入院基本料（急性期一般入院基本料 5）、診療録管理体制加算 2、医師事務作業補助体制加算 1（20 対 1 補助体制加算）、急性期看護補助体制加算 25 対 1（看護補助者 5 割以上）、重症者等療養環境特別加算、データ提出加算 1、入退院支援加算 2、総合評価加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、入院時食事療養（Ⅰ）、がん性疼痛緩和指導管理料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料 1、検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）、CT 撮影及びMR I 撮影、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）、人工腎臓 慢性維持透析を行った場合 1、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンポンピング法（Ⅰ A B P 法）、輸血管理料Ⅱ、救急医療管理加算 など

2 医師数の推移

当医療センターでは人工透析の増床や、心臓カテーテル検査の導入、脊椎脊髄センターの開設など専門医療に積極的に取り組んできましたが、小児科、皮膚科、泌尿器科などは、非常勤医師による日中外来のみでの診療を余儀なくされています。常勤医師数は減少の一途をたどっていることから、入院患者の受入れを強化するためにも、常勤医師の招聘に努めなければなりません。

表2-1 常勤医師数の推移（各年4月1日現在）

単位：人

区 分	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02	R03
内 科	3	3	3	3	3	4	3
外 科	2	2	2	2	2	1	1
整形外科	5	3	2	2	1	0	0
歯 科	1	1	1	1	1	1	1
合 計	11	9	8	8	7	6	5

表2-2 非常勤医師数の推移（各年4月現在）

単位：人

区 分	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02	R03
内 科	3.9 (21)	4.3 (25)	4.6 (27)	5.5 (27)	5.4 (28)	5.0 (21)	6.2 (30)
小 児 科	1.0 (12)	1.0 (9)	1.0 (9)	1.0 (8)	1.0 (8)	1.1 (7)	1.1 (6)
外 科	0.8 (1)	0.9 (1)	0.8 (1)	0.6 (1)	0.7 (3)	0.5 (3)	0.7 (2)
整形外科	1.5 (8)	1.9 (11)	1.5 (9)	1.6 (10)	1.3 (9)	3.0 (13)	2.5 (11)
形成外科	—	—	—	—	—	0.4 (2)	0.2 (1)
脳神経外科	0.2 (1)						
皮 膚 科	0.4 (3)	0.4 (2)	0.6 (3)	0.6 (3)	0.4 (2)	0.4 (2)	0.5 (2)
泌尿器科	0.4 (2)	0.6 (1)	0.6 (1)	0.6 (1)	0.9 (3)	0.8 (4)	0.9 (4)
眼 科	1.4 (6)	1.2 (6)	1.2 (6)	1.4 (7)	1.4 (7)	1.4 (7)	1.4 (7)
耳鼻いんこう科	0.6 (3)	0.8 (5)					
麻 酔 科	0.7 (9)	0.8 (9)	0.7 (9)	0.8 (9)	0.6 (7)	0.7 (5)	0.4 (4)
合 計	10.9 (66)	11.9 (68)	11.8 (69)	12.9 (70)	12.5 (71)	13.6 (68)	14.9 (73)

※ 上段：常勤換算人数／下段：延人数

3 患者数の推移

入院患者数の受入増加対策として、急性期医療の継続に加え、平成 29 年度に地域包括ケア病床を 19 床設置して回復期のリハビリテーションを行うなどした結果、1 日平均 110 人となりました。平成 31 年度（令和元年度）は新病院移行準備及び開院により稼働病床を減床したため延入院患者数は減りましたが、病床利用率は上がりました。

外来患者数は、令和元年度までは年間 10 万人を超えていましたが、令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響で 10 万人を下回った状況です。

表3 患者数の推移

単位：人

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02
延入院患者	28,041	30,696	30,738	40,028	38,392	30,169	28,126
1 日平均	77	84	84	110	105	82	77
増減率	▲4.9%	9.1%	0.0%	31.0%	▲4.5%	▲21.9%	▲6.1%
病床 利用率	45.2%	49.3%	49.5%	64.5%	61.9%	63.8%	77.1%
許可病床 (稼働病床)	170 床 (150)	170/100 (92/100)	100 床 (100)				
延外来患者	103,563	102,513	104,547	106,519	106,833	102,151	97,174
1 日平均	424	422	430	437	438	435	400
増減率	▲3.2%	▲0.5%	1.9%	1.6%	0.2%	▲0.7%	▲8.0%

4 収支の状況

当医療センターの入院診療科目は、内科、外科、整形外科、眼科の4科目となっています。主に、内科では心臓カテーテルの検査及び手術を中心に、整形外科では内視鏡での手術など、比較的短期間で入院患者を受け入れている状況により、1人当たりの入院単価は概ね5万円を超えています。

表4 収支の状況

単位：百万円

区 分		H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02
収	医業収益	2,660	2,843	2,713	3,010	2,908	2,671	2,798
	入院収益	1,680	1,860	1,758	2,006	1,908	1,690	1,712
	外来収益	909	910	879	938	940	918	905
	その他	71	73	76	66	60	63	181
益	医業外収益	292	256	264	266	268	467	438
	他会計負担金	212	181	189	200	200	390	254
	その他事業収益	90	144	96	91	94	184	99
	収益合計	3,042	3,243	3,073	3,367	3,270	3,322	3,335
費 用	医業費用	3,031	3,081	3,016	3,015	3,037	2,810	3,190
	給与費	1,774	1,762	1,780	1,794	1,844	1,675	1,676
	材料費	663	733	670	680	681	698	707
	経費	430	413	398	389	365	354	421
	減価償却費	158	165	160	145	140	77	382
	その他	6	8	8	7	7	6	4
	医業外費用	99	100	96	104	107	134	163
	支払利息	2	2	2	2	5	17	15
	その他事業費用	180	101	127	91	92	964	103
	費用合計	3,310	3,282	3,239	3,210	3,236	3,908	3,455
医業収支		▲371	▲238	▲303	▲5	▲129	▲139	▲392
経常収支		▲268	▲39	▲166	157	34	▲586	▲120

※ 令和2年度から一般会計からの他会計負担金のうち、「救急医療に要する経費」は、医業収益・その他に計上しています。

5 繰出金の状況

令和元年度以降は、病院建設事業や医療機器整備等の経費に充当するため、基準外繰出金を受け入れています。

表5 繰出金の推移

単位：百万円

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02	R03 予算
香 取 市	290	298	302	286	275	497	520	571
東 庄 町	47	49	49	47	45	42	—	—
合 計	337	347	351	333	320	539	520	571
うち基準外繰出金	0	0	0	0	0	180	70	40

6 現金資金の状況

表6 現金資金の推移

単位：百万円

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02
年度当初	820	638	572	466	548	477	759
年 度 末	638	572	466	548	477	759	865
増 減	▲182	▲66	▲106	82	▲71	282	106

参考資料

診療科別患者数の推移

単位：人・%

区分	年度 項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02
		内科	常勤医師数	3	3	3	3	3
	延入院患者数	15,825	17,140	15,652	20,096	16,837	13,892	13,946
	1日平均入院患者数	43	47	43	55	46	38	38
	対前年増減率	—	9.3	▲ 8.5	27.9	▲ 16.4	▲ 17.4	0.0
	延外来患者数	41,505	40,460	40,557	41,050	40,920	40,485	39,575
	1日平均外来患者数	170	167	170	168	168	172	163
	対前年増減率	—	▲ 1.8	1.8	▲ 1.2	0.0	2.4	▲ 5.2
小児科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	4,447	4,110	4,003	3,654	3,673	3,353	2,319
	1日平均外来患者数	18	17	16	15	15	14	10
	対前年増減率	—	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 6.3	0.0	▲ 6.7	▲ 28.6
外科	常勤医師数	2	2	2	2	2	2	1
	延入院患者数	3,148	2,359	2,402	4,041	4,532	1,515	507
	1日平均入院患者数	9	6	7	11	12	4	1
	対前年増減率	—	▲ 33.3	16.7	57.1	9.1	▲ 66.7	▲ 75.0
	延外来患者数	7,044	6,700	6,396	5,999	5,595	4,673	4,213
	1日平均外来患者数	29	28	26	25	23	20	17
	対前年増減率	—	▲ 3.4	▲ 7.1	▲ 3.8	▲ 8.0	▲ 13.0	▲ 15.0
整形外科	常勤医師数	4	3	3	2	2	1	0
	延入院患者数	8,700	10,757	12,253	15,297	16,128	13,911	12,904
	1日平均入院患者数	24	29	34	42	44	38	35
	対前年増減率	—	20.8	17.2	23.5	4.8	▲ 13.6	▲ 7.9
	延外来患者数	25,384	25,439	25,731	26,239	26,216	24,842	23,304
	1日平均外来患者数	104	105	106	108	107	106	96
	対前年増減率	—	1.0	1.0	1.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 9.4
脳神経 外科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	737	667	625	646	621	718	786
	1日平均外来患者数	3	3	3	3	3	3	3
	対前年増減率	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	4,781	5,510	6,624	6,958	6,020	5,008	4,459
	1日平均外来患者数	20	23	27	29	25	21	18
	対前年増減率	—	15.0	17.4	7.4	▲ 13.8	▲ 16.0	▲ 14.3

区 分	項 目	年 度						
		H26	H27	H28	H29	H30	H31 R01	R02
泌尿器科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	3,585	4,238	5,289	5,975	6,216	6,355	5,266
	1日平均外来患者数	15	17	22	24	26	27	22
対前年増減率	—	13.3	29.4	9.1	8.3	3.8	▲ 18.5	
眼科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	368	440	431	594	895	851	769
	1日平均入院患者数	1	1	1	2	2	2	2
	対前年増減率	—	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	延外来患者数	8,241	7,804	8,175	8,753	9,934	9,446	9,157
	1日平均外来患者数	34	32	34	36	41	40	38
対前年増減率	—	▲ 5.9	6.3	5.9	13.9	▲ 2.4	▲ 5.0	
耳鼻いん こう科	常勤医師数	—	—	—	—	—	—	—
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	3,967	4,019	3,554	3,412	3,593	3,391	3,143
	1日平均外来患者数	16	17	15	14	15	14	13
対前年増減率	—	6.3	▲ 11.8	▲ 6.7	7.1	▲ 6.7	▲ 7.1	
歯科	常勤医師数	1	1	1	1	1	1	1
	延入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	1日平均入院患者数	—	—	—	—	—	—	—
	対前年増減率	—	—	—	—	—	—	—
	延外来患者数	3,872	3,566	3,593	3,833	4,045	3,880	3,980
	1日平均外来患者数	16	15	15	16	17	16	16
対前年増減率	—	▲ 6.3	0.0	6.7	6.3	0.0	0.0	

※ 常勤医師数は年度末現在